

第2回 都市部の高齢化対策に関する検討会	資料2
平成25年6月13日	

都市部の高齢化対策に関する 検討会 第2回資料

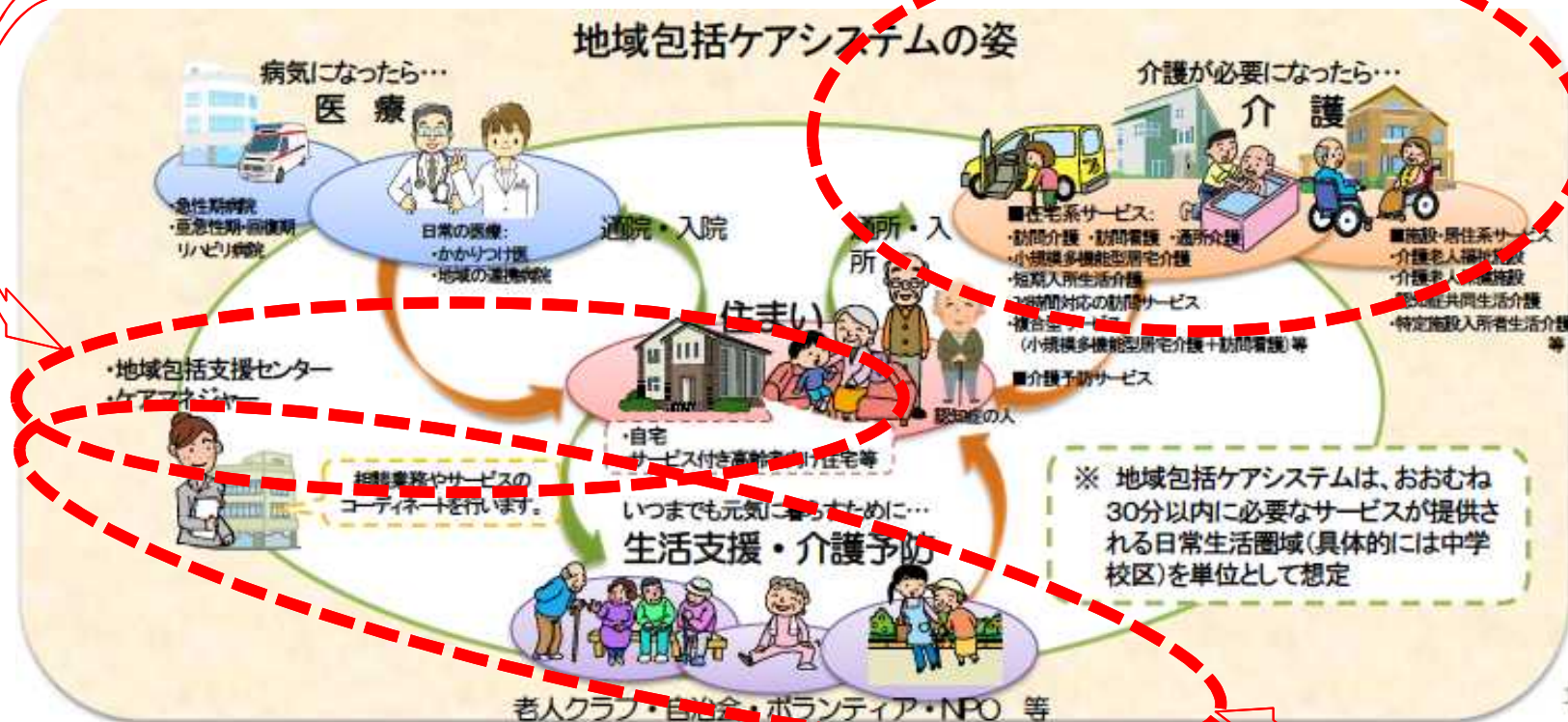
～自治体行政学の視点からの課題提起～

首都大学東京 大学院社会科学研究科

大杉 寛

2. 地域特性をどのように把握するか？

3. 施設マネジメントの観点をどのように関連づけるか？



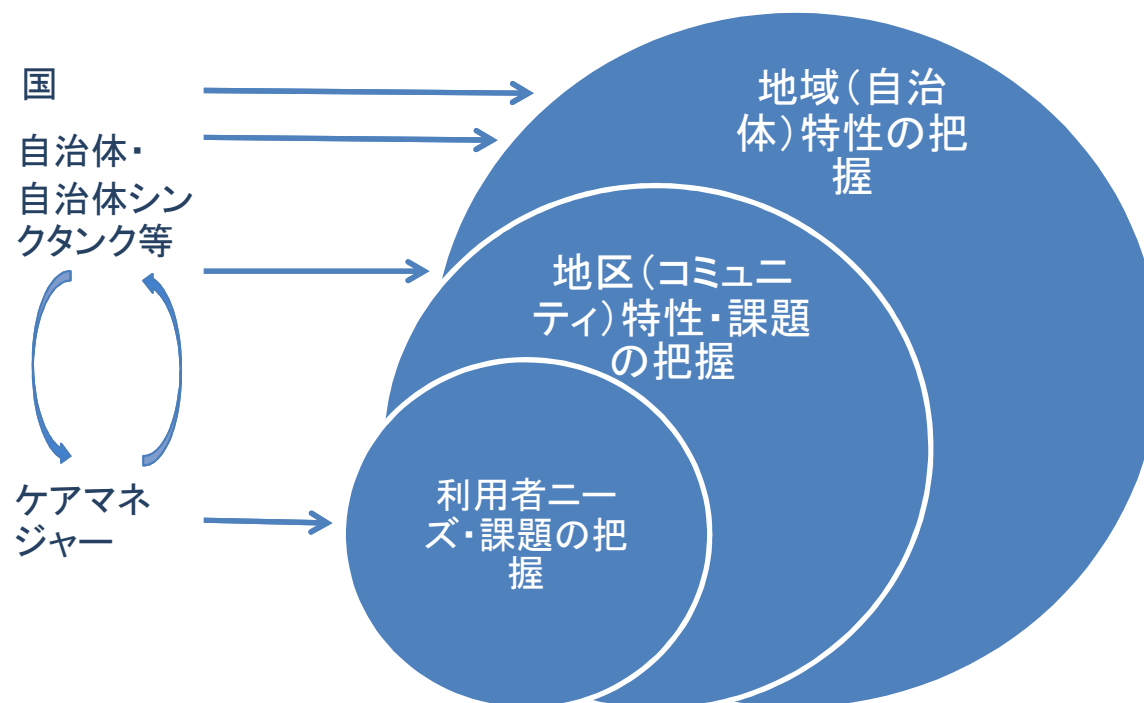
1. 地域コミュニティ施策とどのように関連づけるか？

1. 地域コミュニティ施策とどのように関連づけるか？

- 地域コミュニティは地域包括ケアの基底となる社会構造。
- 地域コミュニティ施策と地域包括ケアとの間の、①単位、②役割、③所管組織、などでの相違・ズレに留意を要する。
- 近年、自治会・町会など旧来の地縁組織に加えて、学区単位等の規模で地域の諸団体を包括する地域自治組織(協議会等)を設置する地域もある(ときに地域内分権等と呼ばれる取組みを伴う)。
- これら地域コミュニティ組織は生活支援サービスとより密接なしくみに(サービス提供団体が構成メンバーに加入;提案型事業による生活支援事業の誘導の可能性など)。
- しかしながら、地域包括ケアについて必ずしも十分に意識した運営がなされているとはいえず。
- システムを担う主体の一つとして、積極的な情報提供、事業・活動での連携の推進、計画等の策定手続における関与の確保などを考慮すべき(これにより高齢化、担い手不足、地域づくりでの位置づけの不明確さなど地域コミュニティ側の課題解決にも資する)。

2. 地域特性をどのように把握するか？

- 大都市内でも地域特性は多様。
- 多様なアプローチで地域特性を把握する試みが必要。
- 大都市部自治体には、自治体シンクタンクなどで地域社会に関する詳細な調査研究を行う例がある。これら機関との連携などが考えられる。



3. 施設マネジメントの観点をどのように関連づけるか？

- 現在、施設の老朽化等を受けて大都市部自治体の多くでは施設の再配置等の検討・実施が進められている。再配置等の際して高齢者施設を新設・増設することもある。
- ただし、将来の高齢者人口増への計画的な対応、施設の大規模修繕、建替えなどについて、公設・民設を含めた総合的なスケジュール管理などが必ずしもなされているわけではない。一元的な管理が求められる。